

平成20年度食育推進活動表彰

長崎県では、平成19年度に長崎県における「食育元年」のスタートにあたり、社会的貢献度が高く、他のモデルとなる実践的な食育活動に取り組んでいる団体及び個人を表彰する食育推進活動の知事表彰制度を創設しました。

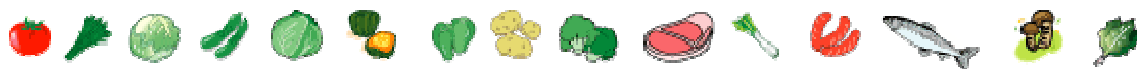
平成20年度の受賞者をご紹介します。



毎年6月は「食育月間」毎月19日は「食育の日」
～いただきます 元気 ながさき おいしか県～

おめでとうございます。

受賞団体及び受賞者の方と表彰の対象となった活動内容は、次のとおりです。



団 体



● JA 壱岐市青年部那賀支部

平成15年度から、「いきダッシュ村」というプロジェクト名で、児童への農業体験学習を主体とした、食育活動を行なっている。那賀小学校の校長先生を「村長」に任命し、那賀支部や児童、保護者が「村民」となる。

「食と農」を通し、食べ物を選ぶ力、味がわかる力、料理ができる力、体を大切にできる力、食べ物の命を感じる力を養うという目

標を掲げ、5年間で540名の児童が参加し食生活の改善、心の成長など高い教育効果をあげている。

19年度にはこの活動に刺激を受けて、JA 青年部10支部で児童への食育活動を行なうようになり、壱岐島内の食育推進活動のリーダー的存在となって活動している。



● 私立保育園マミー

平成15年度より、自然に触れることを保育目標の1つに掲げ、野菜作りを始めるようになった。生ゴミリサイクル元気野菜作り活動を通して、園児とその家族の食への興味と関心が深くなった。効果として、野菜を食べる量が増え低体温児の体温が36度台となり、病気で欠席する園児が減少した。さらに、保護者と職員、地域の活

動仲間が同じ目的に向かって活動し、交流の和が生まれ、ごみ減量化の大切さとCO2問題にも関心が深くなった。卒園式の記念品は、園児自ら手塩にかけた「たくあん」である。



● 社団法人長崎魚市場協会

平成元年から、小・中学校、短大・公民館等で子どもや保護者を対象に魚調理教室を実施している。地元水産物について魚の種類や魚のさばき方、料理法、栄養特性などについて理解を深めてもらい、魚食普及を通して食育活動を行なっている。魚食離れが危惧されている中、子どものうちから地元水産物について正しい理解を得て、魚料理の体験をすることで、

将来の健康的な食生活に大きく影響を与えることが期待される。市内だけではなく、近隣の市町でも活動している。

個人

● 浦 多津子 氏

食生活改善推進員としてエコクッキングをはじめ、様々な食育活動を行なっている。食育活動歴は13年。佐世保市の各種委員をはじめ、長崎県食生活改善推進連絡協議会理事として食育の施策にかかわっている。「食育アンケート」を実施し、佐世保市の食育推進会議で報告した。教育現場や公民館等で、児童、保護者、一般の参加者に対し食育活動を行なう中で、家庭での食育の必要性、重要性の理解が深まり、食品の安全性や環境問題の関心が深まった。今後も、食育関係機関と連携し、「食」に関する感謝の気持ちと理解を深め、健康な心と体を育み、豊かな社会の実現を目標に活動を行なっていく。



● 高木 龍男 氏

約10年前から、地域小学生をはじめとする児童生徒を製菓工場に迎え、長崎県の風土と食について理解が深まるよう、様々な体験を通じた学習を地道に行なっている。現在、その児童数は約2000名に及ぶ。6年前より県内の小・中・高校へ出向き、ゲストティーチャーとして、長崎の風土と食文化、伝統食を伝えている。3年前から、学校（現在7校）で、生徒自ら製造に係わり、独自の食品をブランド化させた。これらの活動により、児童を通して、生産者、農業団体、行政、学校、加工業者に食教育を通じた連携が生まれた。



平成19年度受賞団体及び個人とその食育活動

- スナッピーズ 子ども達によるミュージカルや食育フェスティバルの開催等。
- 柚木生活学校 食事と健康、食品の安全、食品表示等のテーマによる調査活動。小学生への郷土料理伝承活動等。
- 雲仙保育園 食育の5つの基本理念を掲げての、給食をはじめ、様々な体験活動を通じた子ども達への食育活動等。
- 中尾慶子 氏 NPO「大地といのちの会」の「生ゴミリサイクル元気野菜づくり」を中心とした、学校や地域の様々な団体を対象とする食育活動等。
- 竹嶋 巖 氏 畑や種苗、肥料等を無償で提供し、子ども達への農業体験活動を実施。学校における「地域の先生・ゲストティーチャー」としての指導等。

内閣府選定 平成20年度食育推進に関する「標語」最優秀賞受賞作品を紹介しします。

テーマ「楽しい食卓」

親子や友だちがそろそろ楽しい食卓で、会話やかかわりを大切にしよう

うれしいな 笑顔満点 食満点

諏訪 瞳さん（埼玉県春日部市立八木崎小学校 小学6年）

テーマ「食の豊かさ」

住んでるまちの、地域性あふれる伝統的な食文化や豊かな味覚を伝えていこう

食文化 次は あなたが守る番

會澤美空さん（茨城県常陸太田市立北中学校3年）

テーマ「食を選ぶ力」

食に関する知識と判断力を身につけ、正しい情報を選んで活用しよう

選ぶこと 君の健康 守ること

大城綾花さん（大阪府立岸和田高等学校1年）

内閣府選定 平成18年度食育推進に関する「標語」子ども向けの部 最優秀賞受賞作品

いただきます みんなで食べたら おいしいね

日高健二君（長崎県対馬市 親愛保育園）